

接点クリーニング・拡張安定剤  
*Trans-Music Device*  
(トランス ミュージック デバイス)

取扱説明書



TMD-3  
(各 3ml 入り)  
¥7,000

TMD-10  
(Polymer 10ml / Polish 5ml)  
¥16,800

TMD-10  
(Polymer 20ml / Polish 10ml)  
¥26,800

PLY-10 (リフィル10ml) ¥10,000  
PLY-20 (リフィル20ml) ¥18,000

(Polymer + Polish 2本1組 / 税別)

詰め替え用Polymer(拡張安定剤)  
\*polishは付属しておりません

# TMD Polish & Polymer 使用法

- \* すべての機器の電源を切り、電源ケーブルも抜いておいて下さい
- \* 液はよく振ってから使用して下さい

## Step 1 Polish (接点磨き)



少量を綿棒や紙(キムワイブ)等に浸して接点を磨き、終了したらきれいに拭き取ります。  
(次回からの定期メンテナンスでは、Step 2のポリマー処理だけを行って下さい。)

## Step 2 Polymer (拡張安定剤)



少量を綿棒に浸し端子の金属部分にのみ塗布します。過剰に塗布をすると故障の原因となりますのでご注意ください。10分経過したら、綿棒やキムワイブで入念に拭き取り完了。その後すぐに機器の使用が可能です。なお、TMDによる効果が十分に発揮されるまでには通常で約1日を要します。(電源ケーブル、電源入力端子、タップ等は最短でも2日を要します)

## Step 2×3 Polymer (多重再塗布)

ポリマーは一度の塗布でも大きな効果が得られますが、1時間ほどの時間を空けて2度、3度と再塗布することで、また一段と優れた効果と長期の持続性を発揮します。

また、機器のポテンシャルを最大限に保つためには、ポリマーによる3～6ヶ月ごとの定期メンテナンスをお勧めします。これにより接点表面の自然に付着する汚れを取り除き、最善の状態を保つことが出来ます。

**綿棒の使い方と注意点:** キャノンプラグやスピーカーのバナナ端子等のメス側の狭い箇所綿棒を挿入する際、綿棒の繊維が内部に残ってしまいますことがあります。これを防ぐため必ず、綿棒は右方向(時計回り)にのみ、僅かに回転させながら抜き差しを行って下さい。

**拭き取りについての注意点:** 銀メッキの端子は研磨剤によって、拭き取り紙や綿棒が黒くなることがあります。この現象はポリッシュ剤だけでなくポリマー剤にも同様の研磨剤を微量ながら含んでいますのでポリマー剤のふき取りに際しても僅かに黒く残ります。これは接点自体の汚れではありませんので、過剰の拭き取りは必要ありません。

**塗布後の拭き取りにくい狭い箇所や小さな穴の清掃:** 数回、端子の抜き差しを行った後に残留した粉や汚れは市販のエアーダスターを使って清掃してください。

**ポリッシュについて:** 付属のポリッシュ液はその配合の特性上長期間保存ができません(消費期限1年)のご注意下さい。

## 推奨の綿棒と拭き取り紙

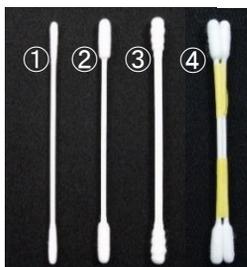
(大手スーパー、ドラッグストア、インターネット等にて購入可)



↓ 下記の綿棒をサンプルとしてお入れしています ↓



- ① 綿棒サンプル 例: Cotton. Zoo 極細 赤ちゃん 綿棒  
② 綿棒サンプル 例: 白十字 赤ちゃん 綿棒  
③ 綿棒サンプル 例: 日進医療器 スパイラル 綿棒



- おすすめ使用例  
① 極細: 溶液の塗布時  
② 中細: HDMIプラグ  
③ 極太: RCA  
④ 2本束ね: XLR出力端子や電源ソケット



歯間ブラシ(写真のものはマツモトキヨシオリジナル商品)  
最小通過径各0.7以下、0.7、0.8、1.0、1.2mmの5つのサイズから選択可能。実際の端子に合わせて適宜お使いください。  
なお、使用時にきつすぎる場合は接点表面を傷つける恐れがありますので十分ご注意ください。



エアーダスター



キッチンタオル



キムタオル紙

**使用上のご注意:** この液体は飲めません。小さなお子様の手が届かないところに保管して下さい。  
 使用時は機器の電源を切り、電源ケーブルも抜いておいてください。  
 万が一、目に入った場合は擦らず直ぐに流水で洗浄し専門の医師にご相談ください。



電源ソケットには  
 塗布: 極細綿棒①  
 拭きとり: 2本束④

XLR 入力端子には  
 塗布: 極細綿棒①  
 拭きとり: 極細綿棒①

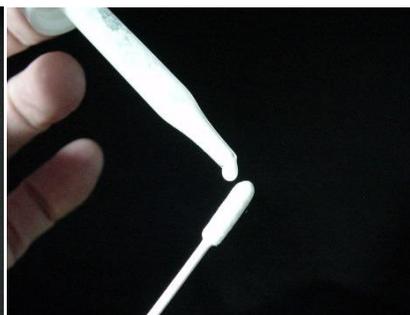
XLR 出力端子には:  
 塗布: 極細綿棒①  
 拭きとり: 2本束④

RCA 入出力端子には:  
 塗布: 極細綿棒①  
 拭きとり中心部: 細綿棒②  
 外周部: キムタオル紙

**ポリッシュやポリマーの塗布、拭き取り作業には下記のような綿棒、拭き取り紙をお薦めします**



綿棒は必要に応じて、プライヤーなどで平らにして使用すると便利です  
 例: 平らにした綿棒を前から見ると①、横から見ると②



ポリマーは綿棒に付属のスポイトから少量をつけて使用します



キムタオルを使用するときもスポイトから少量をつけて使用します



RCA プラグ  
 推奨: 極太綿棒③を平らにしたもの  
 中細綿棒②の2本束とキムタオル



スピーカーケーブルのプラグはキムタオルで磨き綿棒で塗布をします。



ポリッシュは綿棒に少量をつけて使用します



歯間ブラシは極小端子に使用すると便利です。溶剤塗布には小さいサイズ、ふき取りの場合には大きいサイズの歯間ブラシがおすすめです。



XLR メス端子  
 推奨: 極細綿棒①  
 綿棒の抜き差しは常に右回り!!



XLR オス端子  
 推奨: 極太綿棒③の2本束



スピーカー入力端子 (4mm/バナナ)  
 推奨: 極太 綿棒 ③  
 綿棒の抜き差しは常に右回りで!!



スピーカーケーブルのバナナプラグ  
 やプラグはキムタオルで磨きや塗布を。  
 スピーカー入力端子は左記と同様に  
 極太 綿棒③で



キムタオルに少量をつけて塗布しま  
 す。極小のプラグや端子は磨きや塗  
 布に、過剰な液の使用は禁物です。  
 TMDは振動の多いスピーカーと同様、  
 ヘッドフォンにも大変効果的です



Streaming  
 推奨: 綿棒①又は②を使用して少量  
 の塗布と入念な拭き取りをして下さい



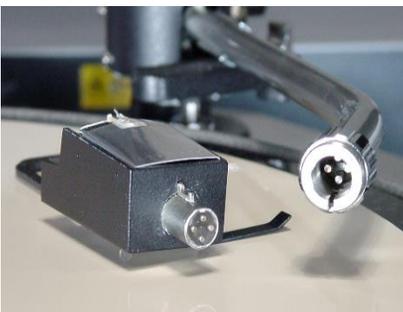
USB  
 推奨: 綿棒①又は②をプライヤーで平  
 らにしたものを使用します。少量の塗  
 布と入念な拭き取りをして下さい



HDMI  
 推奨: プラグ、機器の端子ともに綿棒  
 ②を平らにして使用します。少量の塗  
 布と入念な拭き取りをして下さい



カートリッジ、トーンアームの端子:  
 綿棒①や②を平らにして使用します。  
 シェルリード: 爪楊枝や縫い針などを使  
 って注意深く塗布します。1~2回抜  
 き差し余剰分を取り除きます



ヘッドシェルの出力端子: キムタオル  
 トーンアーム内の端子: 綿棒②の先端  
 に少量の液を付けて磨きや拭き取  
 り、塗布をします。TMDは振動の多い  
 シェル周辺にも大変効果的です



フォノケーブル:  
 DIN入力端子: 細い縫い針など  
 RCA: 綿棒②の2本束とキムタオル  
 XLR: 推奨: 極太 綿棒③の2本束



電源プラグ:  
 すべての機器の電源を切り、電源  
 ケーブルを抜いてから、作業を始めて  
 ください。ポリッシュ、ポリマーとも  
 プライヤーで平らにした綿棒②を使  
 って磨きや塗布、拭き取りをします。



電源プラグ:  
 どの綿棒も作業が可能です。拭き取  
 りは狭いところは綿棒で、その他は  
 キムタオルで拭き取ります。



電源タップ:  
 Polish, Polymerともプライヤーで圧  
 縮し平らにした綿棒②を使って磨き  
 や塗布、拭き取りをします。